

子育て伝言板

『あせらず ゆったり
子どものペースに合わせて』

幌別東保育所 主査 佐藤典子

乳幼児期の発育・発達には、個人差があります。

「ほかの子にできることは、うちの子にもできるように頑張ってほしい」と、親としてついよその子と比べて、心配することがあると思います。

子どもの成長には、その子なりのペースがあつて、特に『言葉』では個人差があります。

赤ちゃんは言葉を話せなくても、お腹がすいたり眠くなったりすると、ぐずったり泣いたりして、自分の気持ちを表現しようとします。こんなときは、子どもが何を表現したいのかを的確にとらえることが大切です。

また、1歳前後になると、『ごよごよ』などと理解できない言葉を話すようになるので、うなずくなどのしぐさを見ると、子どもは自分の意思を伝えようとともつと話し掛けてきます。

絵本の読み聞かせは、言葉を覚えるとともに、親子の触れ合いにもなり、人とのコミュニケーション



ンを覚えることにもなります。

また、テレビなども子どもにただ見せるのではなく、親子で一緒に会話をしながら見ると効果的です。

子ども同士で、おもちゃを取ったり取られたり、友だちをたいたり引っぱったりするなどの行動が見られますが、言葉を覚えてくるところとした行動も少なくなりま

す。子どもは、大人が考えている以上に吸収力があり、親や周りの人たちの後ろ姿を見て育ちます。

子どもの成長は早く、子育ての楽しさを味わえるのはほんのひとときです。子育てに悩んだり、心配なことはたくさんあると思いますが、あせらず、ゆったり、子どものペースに合わせて、子育てに励みましよう。

▼問い合わせ 子育てグループ

(☎5634)

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

子育てサロン『ペンぎんくらぶ』



さりげないサポートが、わたしたちのモットーです

子育てサロン『ペンぎんくらぶ』は、ファミリーサポートセンターで提供会員だったメンバーが、子育て中のお母さんの孤独感や心配事の解決に向けて、お手伝いをしたいと、平成17年9月に設立しました。

現在、会員は4人で、毎週水曜日の10時から12時まで、総合体育館で活動しています。

「毎週20組程度の親子が参加するので、お手伝いの方も4人います。遊具は地域の皆さんからの寄付や会員の手作りなんです。子どもが夜、寝ないとか、発育のことか、子育てに悩みを抱えている親はたくさんいます。そんな親がここへ来て、交流を通して悩みを打ち明け、少しでも気持ちを楽にしてくれればいいなあと思っています」と代表の佐藤美代子さん



は話してくれました。

『ペンぎんくらぶ』の名前は、親ペンギンが餌を取りに行く間、子ペンギンは『クレイシ』と呼ばれる保育所にいます。そこでは子どもを持たないペンギンたちが子ペンギンを守っているのです。そんな『あなたたちの子ども』も、わたしたちみんなの子ども』という姿勢で応援し、少しでも子育てに役立ちたいと付けられています。

昨年10月に入会した村上史子さんは、『ファミリーサポートセンターが開催した救命講習会で声を掛けられ入会しました。子どもを通じた親同士の橋渡しができればいいと思っています。もつとたくさんの方に参加してほしいですね』と話してくれました。

入会を希望される方は佐藤さん(☎0386)までどうぞ。